

新型コロナウイルス感染症（変異株）への対応



厚生労働省 新型コロナウイルス感染症対策推進本部

Ministry of Health, Labour and Welfare

新型コロナウイルス感染症（変異株）のまとめ

一般的にウイルスは増殖や感染を繰り返す中で少しずつ変異していくものであり、新型コロナウイルスも約2週間で一箇所程度の速度で変異していると考えられている。国立感染症研究所は、こうした変異をリスク分析し、その評価に応じて、変異株を「懸念される変異株（VOC）」、「注目すべき変異株（VOI）」、「監視下の変異株（VUM）」に分類※1。変異株の発生動向はゲノムサーベイランスで監視している。

1. 懸念される変異株（Variants of Concern : VOC）

主に感染性や重篤度が増す・ワクチン効果が減弱するなど**性質が変化した可能性が明らかな株**

- B.1.351系統の変異株（ベータ株）※2
- P.1系統の変異株（ガンマ株）
- B.1.617.2系統の変異株（デルタ株）※3
- B.1.1.529系統の変異株（オミクロン株）

2. 注目すべき変異株（Variants of Interest : VOI）

主に感染性や重篤度・ワクチン効果などに**影響を与える可能性が示唆されるかつ国内侵入・増加するリスク等がある株**

- 現在該当なし。

3. 監視下の変異株（Variants under Monitoring : VUM）

主に感染性や重篤度・ワクチン効果などに**影響を与える可能性が示唆される又はVOC/VOIに分類されたもので世界的に検出数が著しく減少等している株**

- B.1.1.7系統の変異株（アルファ株）
- B.1.617.1系統の変異株（旧カッパ株）
- C.37系統の変異株（ラムダ株）
- B.1.621系統の変異株（ミュー株）
- AY.4.2系統の変異株（デルタ株（亜系統））※3

※1 国立感染症研究所では、WHO等の分類方法を参考に、変異株をVOC、VOI、VUMに分類している。国内での検出状況等を加味することから、分類は各国によって異なる。※2 PANGO系統(pango lineage)は、新型コロナウイルスに関して用いられる国際的な系統分類命名法であり、変異株の呼称として広く用いられている。括弧内の変異株名は、WHOラベルである。※3 デルタ株は、PANGO系統のB.1.617.2系統及びその亜系統にあたるAY系統を含んでいる。

新型コロナウイルスの懸念される変異株（VOC）

PANGO系統 (WHOラベル)	最初の 検出	主な 変異	感染性 (従来株比)	重篤度 (従来株比)	再感染やワクチン 効果 (従来株比)
B.1.351 系統の変異株 (ベータ株)	2020年5月 南アフリカ	N501Y E484K	5割程度高い 可能性	入院時死亡リスク が高い可能性	ワクチンや抗体医薬の 効果を弱める可能性
P.1系統の変異株 (ガンマ株)	2020年11月 ブラジル	N501Y E484K	1.4-2.2倍高い 可能性	入院リスクが高い 可能性	ワクチンや抗体医薬の 効果を弱める可能性 従来株感染者の再感染 事例の報告あり
B.1.617.2系統の 変異株 (デルタ株)	2020年10月 インド	L452R	高い可能性 (アルファ株の1.5 倍高い可能性)	入院リスクが高い 可能性	ワクチンの効果を弱める 可能性
B.1.1.529系統の 変異株 (オミクロン株)	2021年11月 南アフリカ等	N501Y E484A	高い可能性	十分な疫学情報が無く 不明	再感染リスク増加の 可能性 ワクチンの効果を弱める 可能性

※感染性・重篤度は、国立感染症研究所等による日本国内症例の疫学的分析結果に基づくもの。ただし、重篤度について、本結果のみから変異株の重症度について結論づけることは困難。
 ※PANGO系統(PANGO Lineage)は、新型コロナウイルスに関して用いられる国際的な系統分類命名法であり、変異株の呼称として広く用いられている。括弧内の変異株名は、WHOラベルである。

※デルタ株は、PANGO 系統の B.1.617.2 系統及びその亜系統にあたる AY 系統を含んでいる。

(出典)国立感染症研究所、WHO

新型コロナウイルスの監視下の変異株（VUM）

PANGO系統 (WHOラベル)	最初の 検出	主な 変異	概要
B.1.1.7系統の変異株 (アルファ株)	2020年9月 英国	N501Y	<ul style="list-style-type: none">感染性や重篤度への影響が示唆されている世界的に検出数が大幅に減少し、追加的な疫学的な影響が見込まれない
B.1.617.1系統の変異株 (旧カッパ株)	2020年10月 インド	L452R E484Q	<ul style="list-style-type: none">感染性の増加が示唆されている世界的に検出数が大幅に減少
C.37系統の変異株 (ラムダ株)	2020年8月 ペルー	L452Q F490S D614G	<ul style="list-style-type: none">感染性の増加が示唆されている
B.1.621系統の変異株 (ミュー株)	2021年1月 コロンビア	E484K N501Y P681H	<ul style="list-style-type: none">感染性やワクチンの効果への影響が示唆されている
AY.4.2系統の変異株	2021年10月 英国	L452R Y145H A222V	<ul style="list-style-type: none">感染性等への影響について示唆されている

※PANGO系統(pango lineage)は、新型コロナウイルスに関して用いられる国際的な系統分類命名法であり、変異株の呼称として広く用いられている。括弧内の変異株名は、WHOラベルである。

※デルタ株は、PANGO 系統の B.1.617.2 系統及びその亜系統にあたる AY 系統を含んでいる。

(出典) 国立感染症研究所、WHO

国内におけるSARS-CoV-2のゲノム解析

累積:114,502 (1/31時点) (+3,459) 括弧内は1/24時点比

都道府県別・空港等検疫の累積：北海道4,006、青森県396、岩手県648、宮城県3,058、秋田県302、山形県636、福島県2,683、茨城県3,676、栃木県2,442、群馬県1,634、埼玉県5,067、千葉県4,951、東京都933、神奈川県3,537、新潟県1,970、富山県872、石川県1,773、福井県1,077、山梨県346、長野県1,362、岐阜県862、静岡県2,018、愛知県1,550、三重県2,771、滋賀県1,144、京都府2,423、大阪府3,860、兵庫県12,533、奈良県1,342、和歌山県2,029、鳥取県688、島根県1,348、岡山県1,754、広島県3,497、山口県3,063、徳島県502、香川県1,060、愛媛県724、高知県898、福岡県11,199、佐賀県748、長崎県1,322、熊本県2,037、大分県1,212、宮崎県971、鹿児島県2,150、沖縄県3,100、主要空港検疫6,328

国立感染症研究所等における全ゲノム解析により確認されたVOCs, VUMs

(系統のみを特定できたものも含む) (1/31時点) 括弧内は1/24時点比

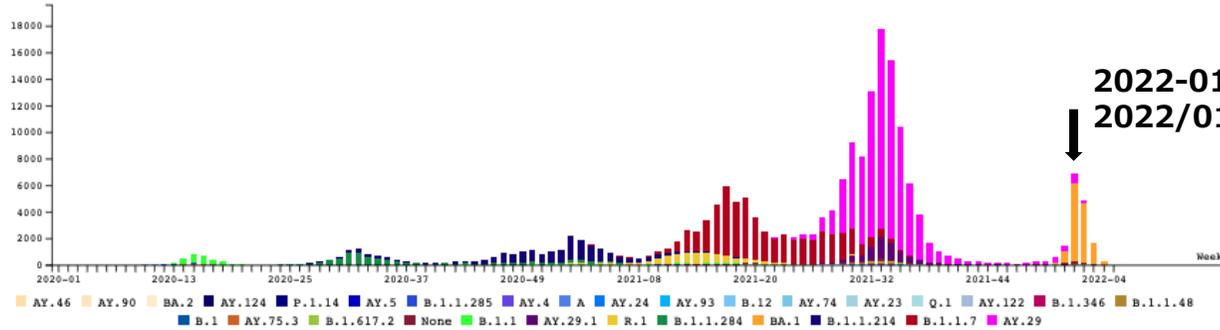
- B.1.351系統の変異株（ベータ株）：国内25例（+0例）、検疫92例（+0例）
- P.1系統の変異株（ガンマ株）：国内107例（+0例）、検疫30例（+0例）
- B.1.617.2系統の変異株（デルタ株）：国内96,653例（+334例）、検疫1,478例（+0例）
- B.1.1.529系統の変異株（オミクロン株）：国内9,733例（+2,801例）、検疫2,246例（+248例）
- B.1.1.7系統の変異株（アルファ株）：国内51,972例（+5例）、検疫342例（+0例）
- B.1.617.1系統の変異株（旧カッパ株）：国内8例（+0例）、検疫19例（+0例）
- C.37系統の変異株（ラムダ株）：国内0例、検疫4例（+0例）
- B.1.621系統の変異株（ミュー株）：国内0例、検疫2例（+0例）
- AY.4.2系統の変異株（デルタ株）：国内0例、検疫7例（+0例）

※件数は暫定値であり、その時点において最新のpango lineageを基に計上しているものであるため、再集計した際に数値が変動する可能性がある。
※デルタ株にはB.1.617.2系統と同等の変異を有する系統（AY.1等）が含まれる。

新型コロナウイルス ゲノムサーベイランスによる系統別検出状況（国立感染症研究所）

国内 新型コロナゲノムの PANGO lineage 変遷（2022/02/04 現在）

[Only Domestic] Weekly Top 30 Graph (count each week)

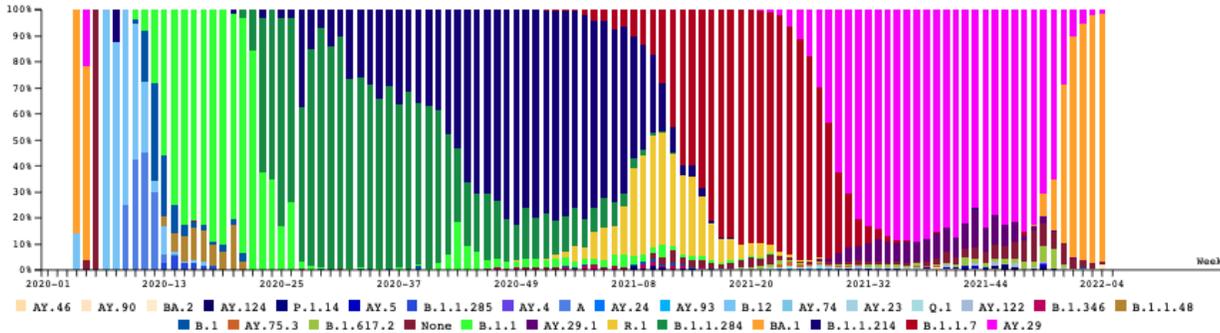


2022-01週
2022/01/03 - 01/09

None: Not available correct PANGO lineage with low sequence quality because of low viral RNA load.

(ウイルス量が少なくゲノム情報が不十分であり正確に PANGO 系統を判定できない対象)

[Only Domestic] Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



None: Not available correct PANGO lineage with low sequence quality because of low viral RNA load.

(ウイルス量が少なくゲノム情報が不十分であり正確に PANGO 系統を判定できない対象)

2022-01	
AY.29	719
B.1.1.7	0
B.1.1.214	0
BA.1	5828
B.1.1.284	0
R.1	0
AY.29.1	13
B.1.1	0
None	258
B.1.617.2	16
AY.75.3	0
B.1	2
B.1.1.48	0
B.1.346	0
AY.122	0
Q.1	0
AY.23	0
AY.74	0
B.12	0
AY.93	0
AY.24	0
A	0
AY.4	0
B.1.1.285	0
AY.5	0
P.1.14	0
AY.124	0
BA.2	24
AY.90	1
AY.46	0

※地方衛生研究所で解析されたゲノム解析結果を含む。
 ※変異株PCR検査での陽性検体を優先してゲノム解読していたこともあるため、正確な母数でPANGO lineage判定できない可能性がある。
 ※デルタ株は、PANGO系統のB.1.617.2系統とその亜系統にあたるAY系統を含む。
 ※オミクロン株は、PANGO系統のB.1.1.529系統とその亜系統にあたるBA系統を含む。
 ※各都道府県のゲノムサーベイランスの状況については、厚生労働省HPの新型コロナウイルス感染症について/国内の発生状況/変異株に関する参考資料、において公表しています。

※その他の株は検出されていない。

変異株PCR検査実施状況（機械的な試算）

2022年2月9日時点

	1/10-1/16				1/17-1/23				1/24-1/30				暫定値 1/31-2/6				
	変異株PCR検査実施件数	変異株PCR検査実施件数(判定不能数を除く) ①	L452R変異株陰性件数 ②	変異株PCR検査陰性率(判定不能除く)(%) ②/①													
北海道	74	74	48	65%	1,861	1,103	1,036	94%	599	376	365	97%	152	151	151	100%	北海道
青森県	178	173	170	98%	287	287	287	100%	240	238	236	99%	61	61	58	95%	青森県
岩手県	63	61	60	98%	100	97	94	97%	95	89	88	99%	0	0	0	-	岩手県
宮城県	250	239	236	99%	546	440	431	98%	1,313	1,104	1,102	100%	1,453	1,210	1,207	100%	宮城県
秋田県	108	105	105	100%	164	151	150	99%	269	234	234	100%	374	320	320	100%	秋田県
山形県	38	33	26	79%	80	77	72	94%	142	135	133	99%	105	100	100	100%	山形県
福島県	310	273	239	88%	502	453	430	95%	218	207	201	97%	105	103	102	99%	福島県
茨城県	495	495	450	91%	357	357	345	97%	285	285	281	99%	161	161	161	100%	茨城県
栃木県	324	219	189	86%	133	93	90	97%	367	280	258	92%	153	93	92	99%	栃木県
群馬県	187	170	111	65%	337	272	232	85%	30	30	30	100%	42	42	39	93%	群馬県
埼玉県	2,111	1,985	1,886	95%	3,434	3,171	3,070	97%	4,613	4,284	4,231	99%	3,411	3,137	3,113	99%	埼玉県
千葉県	1,662	1,537	1,467	95%	353	321	315	98%	790	745	737	99%	642	573	567	99%	千葉県
東京都	3,275	3,080	2,887	94%	7,900	7,364	7,279	99%	4,664	4,416	4,379	99%	690	615	614	100%	東京都
神奈川県	1,669	1,603	1,489	93%	565	537	528	98%	585	565	563	100%	374	356	344	97%	神奈川県
新潟県	225	218	212	97%	93	90	89	99%	0	0	0	-	63	63	63	100%	新潟県
富山県	117	75	62	83%	88	56	50	89%	61	23	22	96%	83	62	62	100%	富山県
石川県	101	93	93	100%	89	74	71	96%	284	269	268	100%	149	144	142	99%	石川県
福井県	253	253	239	94%	290	290	287	99%	293	293	289	99%	104	104	102	98%	福井県
山梨県	186	185	175	95%	204	198	193	97%	399	390	386	99%	298	284	281	99%	山梨県
長野県	480	474	406	86%	382	379	348	92%	376	375	363	97%	268	268	267	100%	長野県
岐阜県	231	156	149	96%	37	25	25	100%	949	668	663	99%	59	54	54	100%	岐阜県
静岡県	428	380	351	92%	517	489	479	98%	471	453	451	100%	109	107	107	100%	静岡県
愛知県	761	640	593	93%	804	761	753	99%	1,456	1,233	1,193	97%	1,197	904	904	100%	愛知県
三重県	471	451	441	98%	503	486	481	99%	343	342	330	96%	300	297	289	97%	三重県
滋賀県	163	140	128	91%	159	154	145	94%	21	21	21	100%	98	80	80	100%	滋賀県
京都府	534	446	395	89%	414	384	361	94%	672	614	602	98%	459	426	423	99%	京都府
大阪府	2,491	2,360	2,248	95%	3,033	2,777	2,696	97%	3,450	3,217	3,175	99%	6,864	6,342	6,295	99%	大阪府
兵庫県	633	619	578	93%	1,232	1,181	1,155	98%	2,240	2,171	2,160	99%	972	917	913	100%	兵庫県
奈良県	145	145	139	96%	54	53	52	98%	0	0	0	-	-	-	-	-	奈良県
和歌山県	169	165	162	98%	11	11	11	100%	4	4	3	75%	8	8	8	100%	和歌山県
鳥取県	78	78	76	97%	355	351	344	98%	337	326	320	98%	0	0	0	-	鳥取県
島根県	248	245	244	100%	299	291	285	98%	186	178	165	93%	-	-	-	-	島根県
岡山県	336	324	262	81%	272	262	243	93%	0	0	0	-	201	183	182	99%	岡山県
広島県	133	127	123	97%	40	40	37	93%	33	33	33	100%	67	65	65	100%	広島県
山口県	462	449	447	100%	497	485	485	100%	249	245	245	100%	252	238	238	100%	山口県
徳島県	70	64	64	100%	48	42	42	100%	48	48	48	100%	48	48	48	100%	徳島県
香川県	137	133	131	98%	263	252	247	98%	0	0	0	-	0	0	0	-	香川県
愛媛県	194	191	189	99%	74	73	73	100%	122	119	118	99%	113	113	113	100%	愛媛県
高知県	102	99	55	56%	77	77	63	82%	31	31	29	94%	0	0	0	-	高知県
福岡県	731	580	522	90%	230	198	181	91%	153	143	140	98%	38	32	32	100%	福岡県
佐賀県	53	53	50	94%	48	48	47	98%	8	7	7	100%	2	2	2	100%	佐賀県
長崎県	223	207	200	97%	128	123	120	98%	163	146	146	100%	209	190	190	100%	長崎県
熊本県	290	273	271	99%	142	130	130	100%	73	73	73	100%	-	-	-	-	熊本県
大分県	256	253	246	97%	11	11	11	100%	0	0	0	-	0	0	0	-	大分県
宮崎県	143	110	106	96%	0	0	0	- 注2	1	1	1	100%	1	1	1	100%	宮崎県
鹿児島県	547	429	404	94%	465	388	379	98%	395	346	336	97%	400	376	371	99%	鹿児島県
沖縄県	179	145	90	62% 注1	305	239	202	85% 注1	59	50	50	100%	64	54	54	100%	沖縄県
全国	22,314	20,607	19,214	93%	27,783	25,141	24,444	97%	27,087	24,807	24,475	99%	20,149	18,284	18,154	99%	全国

※1 L452R変異株PCR検査で陰性を確認することにより、B.1.1.529系統（オミクロン株）の可能性のある検体を検出している。一部の都道府県ではN501Y変異株PCR検査を実施し、陽性を確認している。
 ※2 各報告日時点の集計値を記載しているため、各自治体のホームページ等で公表されている数値と異なる場合がある。 ※3 速報値のため、今後、精査が必要な数字である。
 ※4 陽性者数に自治体の積極的疫学調査等によって把握した患者が、検査数に過去検体の実績がそれぞれ含まれている可能性があることから、地域の感染状況を評価するには注意が必要である。
 ※5 感染経路が明らかなクラスター発生事例においては全例検査は実施していない場合がある。 ※6 委託検査機関での検査数が集計中のため自治体の検査数が変動する可能性がある。
 ※注1 県外から持ち込まれたと思われるデルタ株の流行が一部地域で発生し、その検体が変異株PCR検査に多く含まれたために、一時的にL452R陰性率（オミクロン疑い）が下がったものと考えられる。
 ※注2 新型コロナウイルス感染症患者急増により、PCR検査陽性検体の中から直接ゲノム解析に回している。なお、重症例については優先的に変異株PCR検査及びゲノム解析の実施をお願いしているが、現時点では重症例なし。

「流行拡大期において保健医療体制の確保を図るための感染症法の措置の柔軟な適用についての提言」(2/2 専門家有志)を受けた対応について(案)

国内においては、オミクロン株への置き換わりが急速に進み、全国で新型コロナウイルス患者のうち9割超がオミクロン株となっている。**オミクロン株は感染力、拡大速度が顕著**である一方、患者の重症化率は低く、**軽症・無症状の患者や濃厚接触者が急増**している。こうした全国的な感染の急拡大を踏まえ、**重症化リスクの高い方に重点を置いた保健医療体制を最大限確保するとともに、軽症や無症状の方については、迅速に自宅療養支援・健康観察ができる対応を可能とすることとする。**

対策項目	対策の内容・実施時期
積極的疫学調査の重点化 【再周知】	<ul style="list-style-type: none"> 積極的疫学調査については、リスクの高い医療機関と高齢者施設等のクラスター事案に重点的に行うこととし、それ以外の事業者については、自主的な接触者の調査の実施を求め、事業所において、接触者の自主的な自宅待機を要請することを可能とする。
健康観察の重点化・自宅療養者への連絡の効率な実施 【再周知・明確化】	<ul style="list-style-type: none"> 重症化リスクの高い者（高齢者や基礎疾患がある者等対象者の考え方を明確化）については、保健所・医療機関等から重点的に健康観察を行うことを基本とした上で、それ以外の者については、MyHER-SYSやSMS、フォローアップセンターの活用等による相談体制を基本とするなど、重症化リスクの高い者について重点的に対応する。
療養・待機終了時の運用改善 【再周知】	<ul style="list-style-type: none"> 患者の療養期間又は濃厚接触者の待機期間については、定められた日数を経過した場合には、療養・待機を終了することとし、保健所から改めて連絡を行わないこととする。My HER-SYSの解除機能を改善する。また、その際、検査の陰性証明書が不要であることを改めて周知する。（検査により療養解除・待機期間終了を行う者を除く。）
患者の発生届処理の効率化	<ul style="list-style-type: none"> 患者の急拡大に伴い、全数の届出により多くの時間がかかる状況となっているため、直ちに届け出ることが必要な項目を重点化することで、迅速かつ効率的に処理。
変異株PCR検査・全ゲノム解析の集中化	<ul style="list-style-type: none"> オミクロン株に置き換わる状況となった地域においては、ゲノムサーベイランスで動向の監視を継続。（5-10%程度・感染状況に応じて上限を設定）また、変異株PCR検査・全ゲノム解析について重症例等はできる限り全例実施する。 ※新たな変異株の出現に備えて、水際対策における全ゲノム解析等は引き続き実施。
各種通知書類の効率化 【再周知】	<ul style="list-style-type: none"> 就業制限通知等については、本人からの希望や保健所が必要と判断する場合に限り発行する。（合わせて、SNS等電子的な交付でも可能（保健所からの通知メールの写し等既存の文書でも可）とする。）